

第2回横浜市瀬谷区地区センター及び横浜市瀬谷和楽荘指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和3年8月30日(月) 9時～11時45分
開 催 場 所	瀬谷公会堂会議室1・2
出 席 者	選定委員：嘉藤委員長、加田委員、笹生委員、福島委員、松浦委員（計5人） 事務局4人
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（議題1以降）（傍聴者0人）
議 題	1 審査について 2 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）について 3 審議結果について
決 定 事 項	1 横浜市阿久和地区センター指定候補者に「特定非営利活動法人区民施設協会・せや」と決定。 2 横浜市瀬谷地区センター及び横浜市瀬谷和楽荘指定候補者に「特定非営利活動法人区民施設協会・せや」と決定。
議 事	<p>選定委員5人中5人出席。半数を超えているため、本委員会は成立しました。 また、第1回選定委員会で決定のとおり、審査に関わる事項は非公開とすることを確認しました。</p> <p>1 審査について 事務局から、プレゼンテーションは15分、質疑応答は10分で行うことを説明しました。各施設とも1団体の応募があったこと、市税の滞納がないこと、暴力団又は暴力団経営支配法人等にも該当しないことを報告しました。 また、松浦委員から、財務状況については、これまでの管理運営の長さもあるが、剰余金が公益法人としては多いのではないかと報告されました。</p> <p>2 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）について (1) 阿久和地区センター ア 団体A ① プレゼンテーション ② 質疑応答 (委員) 事業計画書には多く書かれているが、コロナ禍の中で実行できるのか。人が集められない場合の代替案は。また、SDGsについて、職員へはどのように実施していくのか。 (団体) 中止となった事業は、講師と相談して時期を変更して開催し、連続講座は回数を減らすことで対応する。他の施設と時期の調整し、密とならないよう、ウェブ上やちらしなどで周知をする工夫をする。また、SDGsについては、各部屋にアイコンの掲示をしたり、スタッフ会議で情報提供を行う予定。 (委員) 嘱託職員の活用により修繕費を削減するなど、削減の項目が多くなっているが、提案の支出は実績より増えている。数字として見えづらいのでは。</p>

(団体) 支出の増としては、主に人件費となっている。平成 28 年からで約 12% 上昇している。管理費のうち清掃費もほとんどが人件費のため、増額となっている。その他の消耗品費などについては、削減している。

(委員) 新規団体の利用促進について。具体的には。

(団体) 団体からの要望があれば、ポスター掲示やカタログスタンドへの配架をしている。コロナ禍で開催できていないが、例年 6 月に団体見学会や体験会を行っている。自主事業については、担当スタッフが事後グループの立ち上げを勧奨している。

(委員) 修繕について、具体的に把握している箇所は。

(団体) 竣工後 25 年経過しているが、主に雨漏りが課題となっている。その度に区に報告しているが、対応可能なものについては速やかに対処している。地域ケアプラザと合築のため、情報交換は密に行うようにしている。

## (2) 瀬谷地区センター及び瀬谷和楽荘

### ア 団体 A

#### (ア) プレゼンテーション

#### (イ) 質疑応答

(委員) 老人福祉センターの運営は難しい。和楽荘の高齢者向けの介護予防普及啓発事業は認知症予防などが考えられるが、自主グループの立ち上げの際などにどのようなアドバイスをするのか。

(団体) 事前申込の講座では、講師と協力して事後グループお手伝いをする。直接申込の講座はグループを組むまではいかないが、その場であったりすることを楽しみにしていてくれる。

(委員) 利用促進について。コロナ禍でカラオケの利用は難しいが、新しい利用方法としてどのようなことを考えているか。

(団体) カラオケは童謡などに移行している。その他、ストレッチや落語などの新しい利用者も増やしていく。

(委員) 令和 4 年度予算では、令和 2 年度と比較して大きな支出を予定しているのか。

(団体) 人件費や清掃などの管理費が増加する。新型コロナ対策は別途だが、水道光熱費や消耗品費を削減する。

(委員) 令和 2 年度の事業報告書の支出を見ると、地区センターは提案の指定管理料より支出が多くなっているが、和楽荘では提案の指定管理料のほうが多くなっている。どういった理由か。

(団体) 令和 2 年度については、和楽荘は 4 月～5 月は休館だった。その際の人件費や管理費の支出が少なくなっている。

(委員) 平成 31 年度も同様となっている。令和 4 年度はコロナ禍という特殊要因がない想定ということか。

(団体) その通り。

(委員) 令和 2 年度は修繕費がそれほどないが、今後の修繕の予定は。

(団体) 竣工から 40 年経っているが、ここ数年大きな修繕はあまりない。簡単な

修繕は嘱託職員が対応している。

### 3 審議結果について

#### (1) 阿久和地区センター

審議結果は、団体Aが733点となりました。「特定非営利活動法人区民施設協会・せや」(団体A)を指定候補者とすることを決定しました。

#### (2) 瀬谷地区センター及び瀬谷和楽荘

審議結果は、団体Aが830点となりました。「特定非営利活動法人区民施設協会・せや」(団体A)を指定候補者とすることを決定しました。

(講評)

#### (1) 阿久和地区センター

- ・本来は競争があったほうがよかったが、長年の経験があり安心して任せられるのでは。コロナ後の運営は大変になってくると思われる。
- ・応募団体は、阿久和という地域性を理解している。緊張感を持って、施設運営を行って欲しい。
- ・努力は理解できるが、地域づくりの醸成、防災拠点への協力、事後グループの支援など、もう一歩提案があったらよかった。ただし、コロナ禍での利用料金の返金等現場は大変なので、頑張ってもらいたい。
- ・安心して任せられる団体ではあるが、運営する期間が長くなると特に財務面で緩みが出てきてしまう。新しいこととのバランスを上手く取って欲しい。
- ・コロナ禍なので止むを得ない面もあるが、効率的な運営を行って欲しい。区としても、チェックを続けて貰いたい。
- ・人件費の増により、指定管理料を上限で提案するのは違和感がある。

#### (2) 瀬谷地区センター及び瀬谷和楽荘

- ・1団体しかない中、選定するのは難しかった。和楽荘は高齢者の利用が多いが、検温・マスクなどしっかり運営している。コロナ後の運営は難しくなるので、緊張感を持って対応して欲しい。
- ・場所的にも区全体を網羅し、区民にとっても親しみがある施設。長年の慣れが出ないよう、管理している施設間で情報交換しながら、運営を進めて貰いたい。
- ・位置付けが中途半端なこともあり、老人福祉センターは運営しづらい施設となっている。利用者ニーズも大事だが、社会的な取組について提案が欲しかった。ただし、現在の状況で応募してくれるのはありがたいことなので、瀬谷センターらしさで運営して貰いたい。
- ・瀬谷区を取りまとめている団体なので、地域のニーズを捉えながら運営して欲しい。ただし、財務の面では特に和楽荘は令和2年度・平成31年度と2年連続で収入が超過しているにも関わらず、指定管理料が上限で提案されている。指定管理料も税金のため、適正な運営を行って貰いたい。
- ・1団体の応募のため、競争原理が働かなくなっている。経年での繰越金が今の状

	態となっていると思われるが、経済的効率性の動機づけとして、競合が増えて欲しい。また、区による継続したチェックも必要となる。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 (1) 審査に関する確認事項 (2) スケジュール